

桜をみたバツタ

水沼 芽

私は、去年の8月に、学校でバツタを一つ  
 ぎもらいました。すごく可愛くて、お世話が  
 楽しかったです。そして、10月。私が電話で  
 「またバツタがほしいな」と言っていたら、  
 なんと、へやのかべに本物のバツタがいまし  
 た。とりあえず、近くにあったあまっていた  
 虫かごをかまえて、バツタをつかまえてよう  
 したら、バツタは自分から虫かごの中に入っ  
 てきました。私にかってもらいたくて来たよ  
 うに感じたので、このバツタもかうことにし  
 ました。その後、家の庭でエビをバツタ  
 をみつけて、しいくしました。バツタとの、  
 おじろきもたくさんある生活は、楽しかった  
 です。

そんな毎日のなか、冬かくなると弱ってきて  
 しまい、家の中でみつけた子猫のバツタ  
 は亡くなってしまいました。生きのこったバツ  
 タの名前は、「風菜ハイナ」です。風菜は

冬でも元気いっばいでした。エサは、キウ  
 リをあげていて、一日に二回か三回かえてい  
 ました。キウリは、しんせんなものがい  
 は食べないので、ひがえりではおいおでかけ  
 には、キウリを持っていき、風菜をつれて  
 行きました。そのけっか、風菜は箱根、三浦  
 はんとらなど、いろいろなところに行きまし  
 た。のこりのパツ夕は風菜おけなので、大切に  
 育ててきました。

そして、冬をこして、三月になりました。  
 風菜は、またまた元気です。外は、あたたか  
 くおつてきて、桜が咲きはじめています。そ  
 こで、私は、つせ、かく風菜が生きているん  
 だから、桜をみせてあげよう。と思いました。  
 そこで、さ、そく風菜を虫かごごと、桜がさ  
 いていた畝につれてい、てあげました。風菜  
 は、虫かごの中から桜をじ、とみていました。  
 あまりにもおとなしくしていたので、そ、と  
 虫かごからだして、手の上にのせてみました。  
 すると風菜は、手の上から桜をかめていま

した。そんな風菜をみて、「大切に育ててあげて、よかったな」と思いました。

その後も風菜は長生きしました。少しでも上に行こうと虫かごに登って、上に行ったらおちてしまい、また上に行こうとしていたすがたもよくおぼえています。また、三浦はんとらにも何度も行って、桜をたくさんみました。風菜とは、たくさんのおい出があります。

風菜は、5月30日に亡くなってしまいました。すがたは成虫になつていたじょうたいで10月1日に家でみつけてかいはじめたので、長生きしたと思つし、いっしょに桜をみたすがたは、あすれられません。

今、私の家の庭には、風菜のようなおっぱつたかたたくさんいます。まだ小さいおっぱつたのでかいていせんか、もう少ししたら、またおっぱつたを小さくても重いのちとして、大切に育てあげたいです。そして、春になったら、桜を育てあげたいです。